

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 20 日

所属	人間社会学部	職名	専任講師	氏名	NGUYEN THUY
研究課題	ベトナム農村における女性の所得向上と農村工業化の役割（継続課題）				
研究キーワード	ベトナム、ジェンダー格差、農村貧困、農村工業化、階層移動	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	5. ジェンダー平等を実現しよう	8. 働きがいも経済成長も	10. 人や国の不平等をなくそう	

1. 研究成果の概要

本研究では、ベトナムの農村女性が農村工業化、市場経済化の中で貧困から脱出し、豊かになる要因を明らかにするところにある。ベトナムでは、木材加工や籐製品加工等の農村非農業部門が村単位で盛んな「工芸村」と呼ばれる村が北部に集積しているが、2022年度はこれら「工芸村」の集積が、その村の人々の所得向上に実際につながっているのか、ベトナム政府の発表した新しい省別のデータと省の位置情報という空間データを利用して明らかにした。2023年度はそれらの研究結果をさらに進め、ベトナム統計総局が調査を行っている Vietnam Household Living Standards Survey (VHLSS) の 2010 年版の世帯別データを用いて工芸村としての農村工業の集積が農村部の所得格差にどのような影響を与えているか分析を行った。特に各省の位置情報を利用した空間データも併用され、工芸村の集積が所得に与えるスピルオーバー効果が検証された。その結果省レベルのより広域な工芸村の空間的集積（クラスター）となることが世帯所得に正の影響が確認できることにつながるということがわかった。また省をまたいだ工芸村の集積効果が省内所得格差を減少させることがわかった。この結果は 9 月に京都大学で行われた統計関連学会連合大会にて発表された（報告者：東海大学高橋壘教授）。また 2～3 月にかけてはベトナムの南部メコンデルタ農村と中部沿岸部農村の視察を行い、工芸村の現在の状況を把握した。これらの視察の結果は次年度の研究につなげていく予定である。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】 なし

論文名、著者名、共著・単著、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年 等

【著書・論文（査読なし）】

1. 論文名：工業化初期におけるベトナムの農村工業化

著者名： グェン トゥイ 単著

掲載誌名：千葉商大紀要 第 61 巻 第 3 号 pp. 87-103

発行年： 2024 年 3 月

2. 論文名：第 15 章「国際協力-貧困・格差の世界的な縮小に向けて-」

著者名： NGUYEN THUY 単著

掲載誌名：『はじめての人間社会学（第 2 版）』

発行年： 2023 年 4 月

3. 論文名：日越関係の新たな 50 年に向けた新しい扉を：トゥオン国家主席と岸田首相の共同声明から
著者名： NGUYEN THUY 単著
掲載誌名：世界経済評論 IMPACT No.3215（ウェブコラム）
発行年： 2023 年 12 月

4. 訳書名： ベトナム統計年鑑 2021 年版
訳者名：NGUYEN THI THANH THUY（グエン ティ タン トゥイ）単訳（監修：高橋暎東海大学教授）
原著者名：General Statistics Office
原書名： Statistical Yearbook of Viet Nam 2021
発行所： ビスタ ピー・エス
発行年月：2023 年 9 月

【学会発表等】

報告者名：高橋暎、NGUYEN Thuy（共著）
題目：農村工業化が所得格差に与える影響—ベトナムの工芸村に着目して—
学会名：2023 年度統計関連学会連合大会
報告月：2023 年 9 月

3. 主な経費

研究目的で学会費のほか、ベトナム出張旅費などに使用した。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

1. 第 45 回アジアの祭典・チャリティーバザーに参加されていたアジア・大洋州の各国大使と名刺交換を伴う意見交換を行った。各国の発展について活発な意見交換を実施した【2023 年 5 月 10 日】
2. ベトナム教育訓練省のグエン・キム・ソン大臣来日に伴い、日・越大学代表者間による会合が 10 月 12 日、国際協力機構（JICA）本部にて開催された。これは日本とベトナムの大学が学術、教育面において協力関係をより深めるために設けられた会合であり、人間社会学部のグエン トゥイ講師が出席して活発な意見交換が為された。
3. ヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席の来日に伴い 11 月 27 日朝に在日ベトナム大使館にて日越協力に関する会合が開かれた。この会合には日越交流に貢献している 15 名の代表者が招聘され、グエン トゥイ講師もその一人として出席した。
4. グエン トゥイ講師が会長を務める一般社団法人「アジア未来協会」が主催し、AFA 国際セミナーが開催された。6 カ国の学生がオンラインで参加し、10 名が発表を行った。各発表に対し参加した多くの学生や大学教員（3 名）も交えた活発な議論が行われた。
5. 東南アジア学会、アジア政経学会、異文化間教育学会、ベトナム協会会員として、研究会、日本ベトナム研究者会議などに適宜参加した。

